

「継続は力なり」愛され続けるタワー

株式会社岐阜シティ・タワー43開発

代表取締役 桑原 孝吉氏

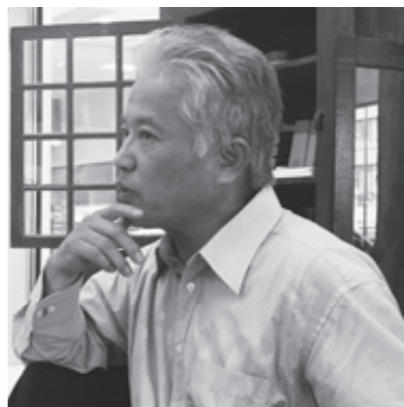
平成19年10月13日、岐阜の伝統と文化を随所に織り交ぜたお洒落な複合型ビルとして岐阜駅前に誕生。以来、皆様に『愛され続けるタワー』でありたいと、さまざまな事業を展開しています。「継続は力なり」この言葉をモットーに、はや3年。その追求はまだまだ真つ最中。

「岐阜」を織り込んだシンボルタワー

岐阜シティ・タワー43は、住居を伴う複合ビルとして中部圏で最も高い地上43階、高さ163mの高層ビルです。岐阜の伝統と文化をデザインコンセプトとし、岐阜

で受け継がれてきたものを採り入れています。岐阜城をイメージする最上階のスカイラウンジ、岐阜提灯を模した高層階の水平ライン、岐阜市章である井桁の形をした建物中央部の吹き抜け。また、鶴飼舟のイメージを各所に採用し、繊細や美濃和紙、木材などのナチュラルな素材も大切にしています。

360度の景色を楽しむ事が出来る最上階の展望スペースとレストランをはじめ、分譲マンション、高齢者向け賃貸住宅、医療・商業施設があります。2階には婦人服やアクセサリー、ハワイアンキルトを取り扱うショップのほか、地産地消にこだわった飲食店が並びランチやダイナーにご利用いただけます。2



▲「もっと岐阜をアピールしていきたい」と意気込む桑原社長

階商業施設からは歩行者用デッキでJR岐阜駅と直結していますので、駅とタワーの両者が結びつくことにより、周辺が魅力ある空間となっています。

みんなが集うタワー

2階のデッキでは、朝・昼・夜

とイベントを開催しています。毎週日曜日の朝10時からスロートード・スローライフをテーマに、岐阜県産やオーガニックにこだわった商品を生産者が直接持ち込み販売する朝市「マルシェ43」。お昼には、タワー内で店舗を構える飲食店が独自のランチボックスや岐阜の味が楽しめる弁当を販売、デッキの中にパソルを設置し、青空の下で食事が楽しめるようにしています。また、夜にはビアガーデンも開催しており、会社帰りの方や近隣の市民の方で賑わいを見せています。

少しでも多くの方にこのビルにお越しいただけるよう、様々なイベントを開催しています。

新しいコンパクトシティを目指す

一般的な二世帯住宅とは、同じ建物に親の世帯と子の世帯が住むことを言います。このタワーでは、お互いの生活を尊重しつつ、付かず離れずの親子が増えてきています。「同じタワー内で住む」という安心感を共有する新しい形の二世帯を提供できているのではないかと

と思います。しかし、このように施設やサービスが集約されているにもかかわらず、実際には広く知られていないのが実情です。

今後、少子高齢化がいつそう進むにあたって、このような施設を街の中心部に造ることが必要であると考えています。他の都市では見られない、岐阜ならではのコンパクトシティを目指すと同時に、駅前にそびえ立つシンボルタワーとして、いつまでも岐阜市の玄関口にふさわしくありたいと思っています。



▲JR岐阜駅の緑と岐阜シティ・タワー43



▶ 43階の展望室では来場記念スタンプが押印できる

Company Data

株式会社岐阜シティ・タワー43開発

住所 ●岐阜市橋本町2-52
電話 ●058-213-5043
事業内容 ●岐阜シティ・タワー43の管理・運営
創業 ●平成18年